

# 居合道 だより

第168号

初心者向けビデオ制作風景から



梅雨晴に絢爛と浮花手水舎  
(宮地嶽神社 手水舎)

## はじめに

今年もあっという間に半年が過ぎた。そしてこの半年間は我々にとって人生初の特別な日々でもあった。

日常の生活の何もかもが変わった。ある意味価値観さえも。今までやってきたことは何だったのだろう。より豊かな人生のため、より良い社会のためにとみんながルーティンのように頑張ってきたことのほとんどが出来なくなってしまったし否定されたものさえあった。

それでも時間は過ぎて行き季節も確実に移ろいもう夏になった。

平成の時代に入って大震災や原発事故、ゲリラ豪雨などの大規模な天災や人災が頻発したが、今回のコロナ禍はあまりにも異質すぎる。

平成のこれらの大災害は、被災された人や犠牲者の数は今回とは比べようもない大多数であり甚大な被害ではあったが、少しずつでも復旧復興に向かっているし、地域が限られていることもあり、被災者以外の者が微力でも手を差し伸べることが出来た。

今回のコロナ禍は全世界で同時多発の出来事であり未だ決定的な解決方法を見い出せないでもいる。何よりもいつ自分の身に降りかかってくるか分からないという恐怖感がある。

こんな時に我々が出来ることは、自分が感染しないよう最大限の努力をすること、他人に感染させないこと以外にはない。それが現在（いま）を生きる人間の最大の社会的責任であろう。

自粛中、我々は日常生活で必要なことだけを篩をかけて選別し、生活してきた。そして新しい生活様式なるものが定着しようとしている。

篩の上に残ったものは当然生活する上での最低限必要なものだ。しかし人間それだけでは生きていけないのも事実である。

篩にかけられて落ちていったものの中にこそ、我々が人間らしく生きていくための大切なもの、キラリと光る貴重な存在が含まれている。

川床の中の土砂や小石を篩にかけて、落ちていった小さな砂粒を水で洗い流してはじめて現れる砂金のような存在。

先月末ようやく条件付きで限定的に再開できるようになった居合が、剣友の皆さんにとって人生のキラリと光る存在で有り続けられますように。

この自粛生活後の稽古再開の中で、今更ながら「事」にふれ「感謝」という言葉をかみしめている。



# 主な活動・七月・八月の予定

8月29日(土) 八段審査会 全剣連 京都府

8月30日(日) 七段・六段審査会 全剣連 京都府

## 編集後記

M78 星雲、光の国といえばウルトラマンが生まれた(架空の)星である。

ウルトラマンと言えば円谷プロダクションが1966年に制作し放映されたカラーの子ども向け特撮巨大変身ヒーロー番組です。その前身はウルトラQという白黒怪獣番組でした。

最近のウルトラマンは最初の特撮に比べると、映像技術が進んでCGの見本のような番組になっております。最初の頃は飛行機の糸やらも見えておりました(笑)



毎回、映像クリエイターな私も番組を、見ながら「すご〜、どうやって作るんやろ〜」と感心しながら見ております。(成長せんあ)内容は意外と昔から変わらないのですが、ウルトラマンやウルトラセブンが、かの星の重鎮となっていて、現在のウルトラマンは先代のシリーズの息子やら弟子という建前で出てくるから笑える。

ちゃんとした縦関係があり、また仲間関係があるという背景がしっかりと構築されている。ラスボスは意外にも同じ光の国のウルトラマンだったりする設定もなんとも人間っぽい！若いウルトラマンに技を伝授したり、練習したり、時々キングの力を拝借したり！なんでもありませんけど、ちょっと縦社会な日本的でもある。(ストーリーはスーパーマンやスターウォーズなどにも共通する典型的なヒーローズジャーニーの繰り返し?)

先日、居合道部の広報委員と理事が一堂に会し初心者向けのビデオ撮影をした。皆様の一家言を拝聴しながらの撮影で、勉強になるなあと思いながら撮影を進めました。近日中に仕上げますのでお楽しみに！

その撮影中に感じたのは帯の結び方ひとつ、袴のたたみ方一つとってもいろいろあるんだなあと改めて感心しました。

せっかく撮ったのですが、絶対的な決まりではない物もあり、まあ「こういうもんですよ」という方向性であって各道場で教える教え方とはまた違って来るのかもしれませんが。その辺り道場で微調整をお願いします。

道場の入り方、帯の締めかた、袴の履き方、着衣の畳み方、正座、作法、足捌き、携刀姿勢、刀礼、持ち方、切り方など。最初に門を叩く方々のために全身全霊を込めて次世代に渡す最初の「変身アイテム」を作成中です。

今年も時期を見て初心者募集を始めるとしていますが、居合も各先生方が修行し勝ち取った「技」を後進に伝授して、次世代を担う「ヒーロー」を育成したいものです。きっと何十年か後には、今入門してくる世代がもっとすごいアイテムを使ってるんだろうな〜とワクワクする期待を込めて、今できる精一杯のことをあの手この手で取り組んでいます。(広報委員一同)

© 公益社団法人 福岡県剣道連盟・福岡県剣道連盟 居合道部

第168号 令和2年7月発行

発行：福岡県剣道連盟居合道部

URL：<http://riai.info/>

発行人：井手友太

〒819-1132 糸島市有田36番地-1

TEL:092-322-0847

編集：有限会社FEW